事業者 I D 1016178

# 地球温暖化対策実施状況報告書

2020 年 9月 10日

(提出先) 横浜市長

住所 横浜市青葉区鴨志田町1000番地

三菱ケミカル(株) 理事役 氏名 Science & Innovation Center長 山本正規

(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)

横浜市生活環境の保全等に関する条例(以下「条例」という。)第144条第2項の規定により、次のとおり提出します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

1 地球温暖化対東事業有等の概要								
事業者の名称 及び代表者の氏名	三菱ケミカル	三菱ケミカル株式会社 取締役社長 和賀 昌之						
主 た る 事 業 所 の 所 在 地	東京都千代田	東京都千代田区丸の内1丁目1番1号						
主たる事業の業種	大分類	E 製造業	業					
土たるず未の未催	中分類	16 化	学工業					
	☑ 条例施	可行規則 (J	以下「規則」	という。	)第89条第1項第1号認	核当事業者		
	規則第	□ 規則第89条第 1 項第 2 号該当事業者						
	規則第	□ 規則第89条第 1 項第 3 号該当事業者						
該当する事業者の要件		且暖化対策 <del>-</del>	事業者以外の	事業者	(任意提出事業者)			
		換  算	8, 967	k 1	市内全事業所数	2	事業所	
	エネルギー使用量		0, 901 K I		原油換算エネルギー使用 量が500k1以上の事業所数	2	事業所	
	自動車の	の台数		台				
I.								

### 2 計画期間及び実施年度

計画期間	2019 年度	~ 2021 年度	実 施 年 度	2019 年度
------	---------	-----------	---------	---------

#### 3 公表の方法

	ホームページ	アドレス						
		閲覧場所	Science & Innovation Center 研究推進部動力グループ					
~	窓口で閲覧	所在地	横浜市青葉区鴨志田町1000番地					
		閲覧可能時間	平日 9:00~17:00(要予約045-963-3083)					
	その他							

4の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況 (第1号及び第2号該当事業者)

4 0)				版に限る日候等 L室効果ガス排出		削減			単位	
基	準	年 度	基 礎 ※1	17, 320	t-CO <sub>2</sub>				t-CO <sub>2</sub> /	
(	2018	年度 )	調整後 ※2	16, 952	t-CO <sub>2</sub>					
目	標	年 度	基礎	17, 942	t-CO <sub>2</sub>	<b>▲</b> 3.6	%		t-CO <sub>2</sub> /	
(	2021	年度 )	調整後	17, 561	t-CO <sub>2</sub>	<b>▲</b> 3.6	%	削減率	2. 2	%
第 (	_	年 度	基 礎 ※1	16, 735	t-CO <sub>2</sub>	3. 4	%		t-CO <sub>2</sub> /	
	2019	年度 )	調整後 ※2	16, 177	t-CO <sub>2</sub>	4.6	%	削減率	0.4	%
第		年 度 年度)	基 礎 ※1		t-CO <sub>2</sub>		%		t-CO <sub>2</sub> /	
(	2020		調整後 ※2		t-CO <sub>2</sub>		%	削減率		%
第	Ξ	年 度	基 礎 ※1		t-CO <sub>2</sub>		%		t-CO <sub>2</sub> /	
(	2021	年度 )	調整後 ※2		t-CO <sub>2</sub>		%	削減率		%
目標成(		捗 及 び明 年度)	主な理由と での業務活! する。その( を用いた原!	算の温室効果ガ しては、鶴見工: 動低下(建屋再構 他外灯のLED/ 単位としては基: は、工場の排出:	場での製 算築に伴う 化などい 準年度比	品減産と、S 事業所内設 くつかの小規 0.4%の削減	cience 備移動 規模改善 となっ	&InnovationCe で業務一部停止 唇も実施した。 た。排出量に比	enter (SIC )によるもの また、寄 こし原単位の	与度合計 削減率

<sup>※1</sup> 基準年度におけるエネルギーの種類ごとの二酸化炭素排出係数(電気事業者から供給された電気の排出係数は基礎排出係数)を継続

4の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況 (第3号該当事業者)

				L室効果ガス排出		削減率	原	単位	
基	準	年 度	基礎		t-CO <sub>2</sub>			t-CO <sub>2</sub> /	
(	2018	年度 )	調整後 ※3		t-CO <sub>2</sub>				
目	標	年 度	基礎		t-CO <sub>2</sub>	%		t-CO <sub>2</sub> /	
(	2021	年度 )	調整後		t-CO <sub>2</sub>	%	削減率		%
第	_	年 度	基礎		t-CO <sub>2</sub>	%		t-CO <sub>2</sub> /	
(	2019	年度 )	調整後 ※3		t-CO <sub>2</sub>	%	削減率		%
第	<u> </u>	年 度 年度)	基礎		t-CO <sub>2</sub>	%		t-CO <sub>2</sub> /	
(	2020		調整後 ※3		t-CO <sub>2</sub>	%	削減率		%
第	三	年 度	基礎		t-CO <sub>2</sub>	%		t-CO <sub>2</sub> /	
(	2021	年度 )	調整後 ※3		t-CO <sub>2</sub>	%	削減率		%
達 成 (	t 状 況 2019	捗 及 び の 説 明 年度 )				鼠室効果ガス削減相当長			

して使用すること。 ※2 当該年度におけるエネルギーの種類ごとの二酸化炭素排出係数(電気事業者から供給された電気の排出係数は調整後排出係数)を使用し、「5 クレジットに関する取組状況」における特定温室効果ガス削減相当量の合計値を差し引くこと。

# 細則第38号様式(第2条第49号) (総括票)

# 5 クレジットに関する取組状況

番号	クレジットの名称	特定温室効果ガス削減相当量 [t-CO <sub>2</sub> ]	備考
1			
2			
3			
4			
5			
	合計		

# 6 再生可能エネルギー利用設備の稼働状況

番号	設備機器の種類	導入年度	設備機器の性能	発電等の実績	単位
1		年度			
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

### 7 次世代自動車の導入状況

次世代自動車の種別	電気自動車	プラグイン ハイブリッド車	燃料電池自動車	合計
導入台数[台]				
保有台数[台]				

(総括票) 8の1 重点対策の実施状況 (第1号及び第2号該当事業者) (その1)

	の1 重点対策の実施 重点対策	状況(第1号及び第2号該当事業者)( 対策の内容	その1)		対策	状況		<i>1.</i> ±±.±z.
	里	対象の刊谷	対象設備		管理基準等の 設定状況	4	②実施状況	備考
1	推進体制の整備	① 本社等が中心となり、支店等と連携して、地球温暖化対策を推進する管理体制を整備している。 ② ①の体制に基づき、定期的に地球温暖化対策に関する計画立案、進捗確認等の会議等を実施している。		0	整備済 一部整備済 未整備 非該当	0	実施済 一部実施済 未実施	
2	エネルギー使用量の把握	① エネルギー種類別(電力、ガス、蒸気、圧縮空気等)の使用量の記録、保管等についての管理基準を設定している。 ② ①の情報を元に、現状把握、過去との比較検証を実施している。		<ul><li>O</li><li>O</li></ul>	設定 設定済 一部設定済 未設定 非該当	<ul><li>O</li><li>O</li></ul>	実施済 一部実施済 未実施 非該当	
3	事務用機器の管理	① 事務用機器 (パーソナルコンピュータ、プリンタ、コピー機、ファクシミリ等) の待機電力削減の取組、省エネモード設定等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	事務用機器	<ul><li>O</li><li>O</li></ul>	設定済 一部設定済 未設定 非該当	0 0	実施済 一部実施済 未実施 非該当	
4	受変電設備の力率の 管理	① 受電端における力率は、95パーセント 以上とすることを基準として進相コンデン サ等を制御するように管理基準を設定して いる。 ② 管理基準に基づいた運用を実施してい る。	受変電設備	0 0	設定済 一部設定済 未設定 非該当	0 0	実施済 一部実施済 未実施 非該当	
5	照明設備の管理	① 事業活動に適した点灯時間、点灯エリア、照度等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	年間2,000時 間以上点灯す る照明設備	0 0	設定済 一部設定済 未設定 非該当	0 0	実施済 一部実施済 未実施 非該当	
6	空調設備の管理	① 空調を施す区画を限定し、外気条件変動等に応じた設備の運転時間、室温、湿度等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	空調設備	0 0	設定済 一部設定済 未設定 非該当	0	実施済 一部実施済 未実施 非該当	
7	空調用冷凍機の管理	① 外気条件変動等に応じた冷却水温度や 圧力等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	空調用冷凍機	0	設定済 一部設定済 未設定 非該当	0	実施済 一部実施済 未実施 非該当	
8	換気設備の管理	① 換気を施す区画を限定し、外気条件変動等に応じた換気量、運転時間等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	換気設備	0 0	設定済 一部設定済 未設定 非該当	0	実施済 一部実施済 未実施 非該当	
9	フィルターの清掃	① 空調設備、換気設備のフィルターの点 検、清掃についての管理基準を設定してい る。 ② 管理基準に基づいた運用を実施してい る。	空調設備換気設備	0	設定済 一部設定済 未設定 非該当	0 0	実施済 一部実施済 未実施 非該当	
10	ボイラーの管理	① 過剰な蒸気の供給及び燃料の供給をなくし適正に運転するため、蒸気の圧力、温度及び運転時間についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	ボイラー	0 0	設定済 一部設定済 未設定 非該当	0 0	実施済 一部実施済 未実施 非該当	

8の1 重点対策の実施状況及び計画 (第1号及び第2号該当事業者) (その2)

					対策	状況		
	重点対策	対策の内容	対象設備	①管理基準等の 設定状況		②実施状況		備考
		① ボイラー設備の配管、バルブ等の保温 及び断熱の維持、蒸気の漏えい、詰まりの 防止等についての管理基準を設定してい		•	設定済	•	実施済	
11	蒸気配管等の管理		ボイラー	0	一部設定済	0	一部実施済	
	2	る。 ② 管理基準に基づいた運用を実施してい	N. 1 2	0	未設定	0	未実施	
		る。		0	非該当	0	非該当	
		① 燃焼設備及び使用する燃料の種類に応じて、排出ガスにおける空気比の値が基準空気比※以下になるような、空気比についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施してい		•	設定済	•	実施済	
12	燃焼設備の空気比管		ボイラー 工業炉	0	一部設定済	0	一部実施済	
	理			0	未設定	0	未実施	
		る。		0	非該当	0	非該当	
		① 使用端圧力及び吐出量を把握し、負荷		•	設定済	•	実施済	
13	ロワー及びコンプ	に応じた運転台数制御、回転数制御等についての管理基準を設定している。	ポンプ ファン	0	一部設定済	0	一部実施済	
10	レッサの負荷に応じ た運転管理	の 答理其準に其べいた演用を宝抜してい	ブロワー コンプレッサ	0	未設定	0	未実施	
	TO COMPANY	1°40		0	非該当	0	非該当	

<sup>※</sup> 基準空気比とは、工場等におけるエネルギーの使用の合理化に関する事業者の判断の基準(平成21年経済産業省告示第66号)の別表第1 (A) に規定するものをいう。

8の2 重点対策の実施状況 (第3号該当事業者)

	<b>-</b> 1.16	Le l'Artic con unha prima	LL 5: 30 Hz		<b></b> 状况	/+++*
	重点対策	対策の内容	対象設備	①管理基準等の 設定状況	②実施状況	備考
		① 本社等が中心となり、支店等と連携し		整備済	三 実施済	
14	推進体制の整備	て、地球温暖化対策を推進する管理体制を整備している。		一部整備済	一部実施済	
	The II had a realing	② ①の体制に基づき、定期的に地球温暖化対策に関する計画立案、進捗確認等の会		○ 未整備	○ 未実施	
		議等を実施している。	<u>/</u>	非該当	1 非該当	
		<ul><li>① 目的地までの燃料消費量、所要時間等</li></ul>		整備済	三 実施済	
15	自動車の適正な使用	を考慮した効率的な走行ルート等の情報を 運転者に伝える仕組みを整備している。		一部整備済	一部実施済	
	管理	② ①の仕組みを活用した運用を実施している。		○ 未整備	○ 未実施	
			<u>/</u>	非該当	1 非該当	
		① 自動車ごとの走行距離、エネルギー消費量等のデータの定期的な記録等についての管理基準を設定している。 ② ①の情報を活用した運用を実施している。		設定済	実施済	
16	エネルギー使用量等に関するデータの管			一部設定済	一部実施済	
	理			大設定 未設定	○ 未実施	
			Z	非該当	非該当	
		① エコドライブ推進に関する責任者を設置し、エコドライブの実施及びエコドライ		設定済	三 実施済	
17	エコドライブ推進体 制の整備	ブ講習等についての管理基準を設定してい		一部設定済	一部実施済	
	前の発加	る。 ② 管理基準に基づいた運用を実施してい		○ 未設定	<b>大</b> 実施	
		<u>る。</u>	Z	非該当	非該当	
		① 日常の点検・整備に係る責任者を設置 し、点検、整備及び点検・整備に必要な知	/	設定済	実施済	
18	自動車の適正な維持 管理	識や技術を習得するための研修等について の管理基準を設定している。		一部設定済	一部実施済	
	管理	② 管理基準に基づいた運用を実施してい		○ 未設定	○ 未実施	
		<b>వ</b> 。	/	非該当	非該当	

#### 細則第38号様式(第2条第49号) (総括票)

- 9 自主的な温室効果ガス排出削減対策の実施状況
- ・計画期間に効果が得られた自主的な対策について記載してください。・燃料、熱、電気等の使用量を一年間での値に換算して削減量を算出してください。

	事業者総排出量 [t-CO <sub>2</sub> ]	 事	<u>  減量合計</u>            		
	16, 735	52	0. 3	31	%
類	具			減量 -C0 <sub>2</sub> ]	

_					
番号	実施年度	対策分類	設備分類	具体的な対策	削減量 [t-CO <sub>2</sub> ]
1	2019	稼働時間の 短縮	電気使用設備	【鶴見工場】 培養槽のエアー吹込み量の削減 ・常時エアー吹込み→培養槽稼働時のみエアー吹込み 運転に変更	5. 8
2		稼働時間の 短縮	電気使用設備	【鶴見工場】 排水処理設備の脱水機更新 ・能力縮小による消費電力量削減	4. 5
3	2019	効率向上	電気使用設備	【鶴見工場】 外灯の水銀灯(300W)からLED(150W)化へ更新 2018年度実施、2019年度寄与分:26か所 2019年度実施分:5か所	8.6
4		稼働時間の 短縮	電気使用設備	【鶴見工場】 排水ポンプの稼働を常時運転からKY-1移液時運転に変 更 ・稼働時間の削減(連続運転→30分/3日間)	5. 3
5	2019	燃料転換 (係数)	熱源設備 (冷温水、 冷却水設 備)	【鶴見工場】 更衣棟浴場のシャワー化 ・蒸気使用設備の廃止(都市ガス給湯方式) ・蒸気配管の撤去 ・浴槽を廃止し、シャワー化へ(給湯使用量の削減)	28. 1

細則第38号様式(第2条第49号) (総括票)

10 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況
【SIC】三菱ケミカルホールディングス集合事業所として敷地21万㎡の約50%占める緑地(保存林と植樹帯)の維持管理を続けている。また、1976年以来排水のリサイクルを実施しており2019年度は10
5千m3リサイクルした。一方、廃棄物に関しても紙や試薬ビン,金属類等分別回収によるリサイクル、また産廃業者による焼却灰のリサイクル等で毎年減少に努めている。 【鶴見工場】工場敷地内の672㎡を
緑地化し維持管理している
11 特記事項